

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	家庭ごみ手数料化事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030300 - 085	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	02 ごみの発生抑制		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	廃棄物処理法、資源循環推進法、			
■関連計画の名称	北上市ごみ処理基本計画、北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	ごみ減量とリサイクルの推進、処理経費の節減及び市民意識の高揚を目的とする。処理経費を含む指定袋及びシールでのごみ出しに変更。袋は40.30.20.10Lの4種類、100円のシール。資源常設ステーションの5箇所設置。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	家庭ごみ手数料化事業	市民	取扱予定数量 可燃 10L □ 36,800部 20L 67,600部 30L □ 36,500部 40L □ 1,600部 不燃 10L 4,200部 20L 5,100部 30L 5,600部 40L 8,600部 シール券 13,000枚	取扱数量 可燃 10L: 35,160部、20L: 66,660部、30L: 89,820部、40L: 118,380部 、 不燃 10L: 4,020部、20L: 4,860部、30L: 5,010部 、40L: 7,650部、 シール券13,350枚

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	37,844	37,471	37,254	36,410	
人件費	2,596	2,840	5,375	1,489	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	40,440	40,311	42,629	37,899	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標 コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	可燃ごみ収集量	11,827t	11,814t	11,865t	12,540t	
02	不燃ごみ収集量	823t	828t	785t	1,047t	
03	リサイクル率	0.227	0.214	0.203	0.194	(資源ごみ+集団資源+磁性物+アルミ類)/(ごみ総量+集団資源+泥灰)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☒ A. 順調
- ☐ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

27年度の取扱数量は、可燃全体310,020部(前年比10.7%)、不燃全体では21,540部(前年比3.5%)、シール券13,350枚(6.0%)である。

問題点・課題等

欠陥ごみ袋に関する苦情処理対応(窓口、交換、原因)について、市、販売店、製造・配送業者間が密に連携し、迅速かつ臨機に対応できるようなシステム作りが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
- ☐ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

家庭ごみ手数料について、岩手中部クリーンセンターにおける可燃ごみ広域処理によるごみ処理費用に注視し、検討していく。

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☐ V. 完了